

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月12日

上場取引所 JQ

上場会社名 桂川電機株式会社
 コード番号 6416 URL <http://www.kiphq.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役
 四半期報告書提出予定日 平成22年2月15日
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 渡邊 正禮
 (氏名) 松本 茂弘

TEL 03-3758-0182

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	8,077	△38.2	△1,145	—	△1,128	—	△1,210	—
21年3月期第3四半期	13,070	△16.4	1,181	△47.2	833	△66.9	249	△82.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	△79.00	—
21年3月期第3四半期	16.25	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	19,980	16,616	83.2	1,084.41
21年3月期	21,627	17,919	82.9	1,169.44

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 16,616百万円 21年3月期 17,919百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	7.50	7.50
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,000	△24.3	△1,300	—	△1,400	—	△1,550	—	△101.15

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- | | |
|-----------------|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う変更 | 無 |
| ② ①以外の変更 | 無 |
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年3月期第3四半期 | 15,525,000株 | 21年3月期 | 15,525,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年3月期第3四半期 | 201,678株 | 21年3月期 | 201,598株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年3月期第3四半期 | 15,323,331株 | 21年3月期第3四半期 | 15,323,402株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、当社の事業を取巻く経済環境、市場動向、為替レートの変動など様々な要因によって記述されている業績見通しとは大きく異なる結果となり得る可能性があります。

業績予想の前提となる条件等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成21年4月～平成21年12月）におけるわが国経済は、新興国の需要拡大により景気の底打ち感が出てきているものの、国内では為替相場の円高進行、デフレ懸念、設備投資の減少等で企業収益は依然として低迷しており、これに伴う所得環境の悪化による個人消費の減少で景気は厳しい状況で推移いたしました。

当社グループが属する事務機器業界におきましては、景気の低迷による設備投資の見直しで、需要が減退し、更に製品の販売価格競争の激化で厳しい経営環境が続いております。

当社グループは、機動的な経営戦略や経営基盤の強化を推進するため、ヨーロッパ市場の直販体制強化のためにフランスの Editions Solutions & Systemes SA社を買収、また国内営業部と販売子会社株式会社ケイアイビーの営業部門を統合し、国内外の営業体制の強化、保守体制の効率化、製販統合による市場の要求に迅速な対応を構築して、顧客が求める製品を提供できる体制を確立してまいりました。また、プリンタ機器やソフトの進化により、ハード、ソフト、サポートを最適に組み合わせ、顧客の要求に即した総合ソリューションを提供して新規需要による市場の拡大に努めてまいりました。

しかし、設備投資に回復の兆しが見られないこと、更なる円高進行などの影響を受けて、企業収益は依然として低迷し、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は、80億77百万円（前年同期比38.2%減収）となりました。

利益面につきましては、生産体制の見直しや経費圧縮等改善してまいりましたが、売上の減収が大きく影響し、当第3四半期連結累計期間の営業利益は、11億45百万円の営業損失となりました。

当第3四半期連結累計期間の経常利益は、11億28百万円の経常損失、当第3四半期連結累計期間の四半期純利益は、12億10百万円の四半期純損失となりました。

当第3四半期連結累計期間の所在地別セグメントの状況は次のとおりであります。

（日本）

日本市場は、世界同時不況の影響で企業業績の悪化は続き、設備投資の抑制が顕著に表れて厳しい状況が続いております。当第3四半期連結累計期間の売上高は44億64百万円と、前年同四半期連結累計期間に比べて45億42百万円の減収、営業利益は、前年同四半期連結累計期間に比べて10億88百万円の減益（前年同四半期連結累計期間は5億38百万円の営業利益）で5億50百万円の損失となりました。

（北米）

北米市場は、依然として経済低迷の影響を受けて企業の設備投資需要の回復は遅れ、売上が伸び悩んだ状況が続いております。当第3四半期連結累計期間の売上高は37億25百万円と、前年同四半期連結累計期間に比べて47億52百万円の減収、営業利益は、前年同四半期連結累計期間に比べて9億73百万円の減益で65百万円となりました。

（ヨーロッパ）

ヨーロッパ市場は、第2四半期からの好転でEU経済は転換点にあると見られましたが、財政や労働市場を取り巻く環境は依然として厳しく、企業の設備投資も先行きに不安を残しておりますが、直販体制を強化して需要の拡大に努めてまいりました。当第3四半期連結累計期間の売上高は22億15百万円と、前年同四半期連結累計期間に比べて67百万円の増収となりました。しかし、営業利益は、買収による経費が増加して前年同四半期連結累計期間に比べて3億39百万円の減益（前年同四半期連結累計期間は25百万円の営業利益）で3億65百万円の損失となりました。

（アジア）

アジア市場は、中国経済の持ち直しで内需が拡大し、その影響を受けてアジア諸国の輸出も増加してまいりました。しかし、企業の設備投資回復に力強さは見られませんでした。当第3四半期連結累計期間の売上高は13億2百万円と、前年同四半期連結累計期間に比べて24億73百万円の減収、営業利益は、前年同四半期連結累計期間に比べて1億8百万円の減益（前年同四半期連結累計期間は25百万円の営業利益）で83百万円の損失となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産の部

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比較して16億47百万円減少し、199億80百万円となりました。その主な要因につきましては、有価証券の増加はありましたが、現金及び預金、商品及び製品等の在庫の減少による、流動資産の減少13億93百万円、のれん等、無形固定資産の増加5億9百万円及び投資有価証券等、投資その他の資産の減少11億27百万円によるものであります。

(2) 負債の部

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末と比較して3億44百万円減少し、33億63百万円となりました。その主な要因につきましては、支払手形及び買掛金等、流動負債の減少4億52百万円、その他等、固定負債の増加1億8百万円によるものであります。

(3) 純資産の部

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末と比較して13億3百万円減少し、166億16百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の通期連結業績予想について修正いたしました。内容につきましては、平成22年2月12日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 一般債権の貸倒見積高の算定

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

② 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ、正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行う方法によっております。

③ 原価差異の配賦方法

標準原価計算を適用しているために原価差異が生じた場合は、当該原価差異の棚卸資産と売上原価への配賦を年度決算で一括して配賦する方法によっております。

④ 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

⑤ 経過勘定項目の算定方法

経過勘定項目等に関しては、金額に重要性がなく、かつ、財務諸表利用者の判断を誤らせない範囲において合理的な算出方法による会計処理を行っております。

⑥ 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算出方法

当社及び連結子会社の一部は、法人税等の額の算定に関して、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定しております。

また、繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

⑦ 連結会社相互間の債権債務及び取引の相殺消去

連結会社相互間の債権と債務の相殺消去

当該債権の額と債務の額に差異が見られる場合には、合理的な範囲内で当該差異の調整を行わないで債権と債務を相殺消去しております。

連結会社間の取引の相殺消去

取引金額に差異がある場合で当該差異の重要性が乏しいときには、親会社の金額に合わせる方法により相殺消去しております。

⑧ 未実現損益の消去

四半期連結会計期間末在庫に占める当該棚卸資産の金額及び当該取引に係る損益率を合理的に見積って計算しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,640,451	5,919,274
受取手形及び売掛金	2,206,239	2,289,465
有価証券	1,348,118	347,400
商品及び製品	2,063,831	2,552,655
仕掛品	404,992	159,441
原材料及び貯蔵品	1,798,076	2,541,184
その他	472,268	398,855
貸倒引当金	△147,386	△28,585
流動資産合計	12,786,592	14,179,691
固定資産		
有形固定資産	1,791,200	1,427,886
無形固定資産		
のれん	786,871	269,225
その他	329,702	337,386
無形固定資産合計	1,116,573	606,611
投資その他の資産		
投資有価証券	3,299,968	4,273,117
その他	1,011,977	1,166,358
貸倒引当金	△1,400	△1,400
投資損失引当金	△24,899	△24,899
投資その他の資産合計	4,285,646	5,413,178
固定資産合計	7,193,420	7,447,676
資産合計	19,980,012	21,627,368
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,497,552	2,135,622
短期借入金	14,843	—
未払法人税等	12,542	2,414
賞与引当金	77,184	184,685
その他	1,051,082	783,152
流動負債合計	2,653,205	3,105,874
固定負債		
退職給付引当金	275,868	279,139
役員退職慰労引当金	188,820	214,111
その他	245,341	108,462
固定負債合計	710,030	601,712
負債合計	3,363,235	3,707,587

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,651,750	4,651,750
資本剰余金	4,759,500	4,759,500
利益剰余金	8,622,969	9,948,406
自己株式	△113,223	△113,201
株主資本合計	17,920,996	19,246,454
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5,386	1,716
為替換算調整勘定	△1,309,606	△1,328,389
評価・換算差額等合計	△1,304,220	△1,326,672
純資産合計	16,616,776	17,919,781
負債純資産合計	19,980,012	21,627,368

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	13,070,324	8,077,519
売上原価	8,981,044	6,126,921
売上総利益	4,089,280	1,950,598
販売費及び一般管理費	2,908,094	3,095,708
営業利益又は営業損失(△)	1,181,185	△1,145,109
営業外収益		
受取利息	70,344	18,906
受取配当金	4,919	3,103
持分法による投資利益	11,722	23,004
不動産賃貸料	46,949	38,063
助成金収入	—	31,842
雑収入	10,535	86,045
営業外収益合計	144,471	200,964
営業外費用		
支払利息	5,254	2,919
不動産賃貸費用	34,257	29,018
為替差損	450,303	120,513
雑損失	2,270	32,277
営業外費用合計	492,085	184,728
経常利益又は経常損失(△)	833,571	△1,128,873
特別利益		
固定資産売却益	1,140	3
特別利益合計	1,140	3
特別損失		
固定資産売却損	44	—
固定資産除却損	12,122	278
投資有価証券評価損	10,663	—
特別退職金	—	13,162
特別損失合計	22,829	13,440
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	811,882	△1,142,310
法人税、住民税及び事業税	427,382	52,279
法人税等調整額	135,457	15,920
法人税等合計	562,839	68,200
四半期純利益又は四半期純損失(△)	249,042	△1,210,510

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	811,882	△1,142,310
減価償却費	382,619	264,933
貸倒引当金の増減額(△は減少)	677	5,674
賞与引当金の増減額(△は減少)	△141,407	△107,501
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△27,000	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△769	△4,247
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	15,332	△25,291
受取利息及び受取配当金	△75,263	△22,010
支払利息	5,254	2,919
持分法による投資損益(△は益)	△11,722	△23,004
投資有価証券評価損益(△は益)	10,663	—
為替差損益(△は益)	544,105	△67,280
有形固定資産除売却損益(△は益)	11,026	275
売上債権の増減額(△は増加)	△398,760	812,374
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,579,717	1,284,371
仕入債務の増減額(△は減少)	1,284,476	△1,100,009
その他	△62,243	△173,214
小計	769,153	△294,321
利息及び配当金の受取額	95,122	23,001
利息の支払額	△5,254	△2,919
法人税等の還付額	112,604	54,121
法人税等の支払額	△596,411	△88,305
営業活動によるキャッシュ・フロー	375,214	△308,422
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	—	△1,000,000
有形固定資産の取得による支出	△270,659	△155,155
有形固定資産の売却による収入	3,569	3
関係会社株式の取得による支出	△873,239	△722,383
投資有価証券の償還による収入	—	1,000,026
貸付けによる支出	—	△39,000
貸付金の回収による収入	—	5,100
その他	32,686	46,289
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,107,641	△865,120
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	—	△21
配当金の支払額	△230,163	△115,040
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	14,261
その他	—	△165
財務活動によるキャッシュ・フロー	△230,163	△100,965
現金及び現金同等物に係る換算差額	△442,175	△4,484
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,404,766	△1,278,992
現金及び現金同等物の期首残高	7,362,702	5,919,444
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,957,936	4,640,451

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

複写機事業の売上高、営業利益の金額が、それぞれ、全セグメントの売上高合計、営業利益の金額の合計額の90%超であり、その他の事業には重要性がないため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至 平成20年12月31日） (単位：千円)

	日本	北米	ヨーロッパ	アジア	計	消去又は全社	連結
I 売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	2,946,446	7,954,527	2,148,060	21,289	13,070,324	—	13,070,324
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	6,060,036	523,153	—	3,754,664	10,337,854	(10,337,854)	—
計	9,006,483	8,477,681	2,148,060	3,775,954	23,408,179	(10,337,854)	13,070,324
営業利益	538,048	1,039,049	25,356	25,097	1,627,552	(446,366)	1,181,185

当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至 平成21年12月31日） (単位：千円)

	日本	北米	ヨーロッパ	アジア	計	消去又は全社	連結
I 売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	2,240,657	3,626,799	2,207,908	2,153	8,077,519	—	8,077,519
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	2,223,497	98,207	7,926	1,300,325	3,629,956	(3,629,956)	—
計	4,464,155	3,725,006	2,215,834	1,302,479	11,707,476	(3,629,956)	8,077,519
営業利益	△ 550,912	65,706	△ 365,002	△ 83,837	△ 934,046	(211,062)	△ 1,145,109

- (注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域
(1) 北 米 … アメリカ
(2) ヨーロッパ … フランス・イギリス
(3) アジア … 台湾
3. △は営業損失を示しております。

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至 平成20年12月31日） (単位：千円)

	北米	ヨーロッパ	その他	計
I 海外売上高	7,455,136	2,208,795	1,291,004	10,954,936
II 連結売上高	—	—	—	13,070,324
III 連結売上高に占める海外売上高の割合	57.0%	16.9%	9.9%	83.8%

当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至 平成21年12月31日） (単位：千円)

	北米	ヨーロッパ	その他	計
I 海外売上高	3,759,124	2,130,767	773,534	6,663,426
II 連結売上高	—	—	—	8,077,519
III 連結売上高に占める海外売上高の割合	46.5%	26.4%	9.6%	82.5%

- (注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域
(1) 北 米 … アメリカ
(2) ヨーロッパ … フランス他
(3) その他 … 中国・オーストラリア他
3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記（自平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）
該当事項はありません。